

# 主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	産業環境部
	17065	観光協会運営支援事業	課名	商工観光課 観光・地域ブランドG
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上	財務科目	01:一般会計
	基本施策	04:まちづくり観光の推進		07:商工費
	施策の方向	01:持続可能なまちづくり観光の推進		01:商工費
戦略プロジェクト	-	03:観光費		
事業予定期間	H 21 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	亀山市観光協会への補助金交付基準	

② 目的・概要	対象	一般社団法人亀山市観光協会
	目的	まちづくり観光のコーディネート力、推進力を確保するため、亀山市観光協会の円滑な運営支援と組織力の強化を図る。
概要	亀山市観光協会への財政的支援を行うとともに、観光協会主催イベントの開催支援やポスター、パンフレットの印刷、ホームページ運営などの情報発信、フィルムコミッションの運営等に対する支援を行う。また、観光協会事務所移転や組織体制等の検討を行い組織の基盤強化を目指す。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○亀山市観光協会への補助金交付</li> <li>○亀山市観光協会の運営支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内(観光案内所対応)</li> <li>・観光情報の発信</li> <li>・フィルムコミッションの運営</li> </ul> </li> <li>○観光協会事務所移転等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○亀山市観光協会への補助金交付</li> <li>○亀山市観光協会の運営支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内(観光案内所対応)</li> <li>・観光情報の発信</li> <li>・フィルムコミッションの運営</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○亀山市観光協会への補助金交付</li> <li>○亀山市観光協会の運営支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内(観光案内所対応)</li> <li>・観光情報の発信</li> <li>・フィルムコミッションの運営</li> </ul> </li> </ul>	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光協会HPの更新及び細やかな情報更新の支援</li> <li>○事務所移転の検討の中で、まず観光案内機能の強化のため、足湯交流施設での効果的な観光案内について協議を進めた。</li> <li>○フィルムコミッションの運営支援</li> <li>○各種イベント支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光協会HPのきめ細やかな情報更新の支援。</li> <li>○足湯交流施設の案内機能の強化支援。</li> <li>○フィルムコミッションによるメモリアルフォトサポート事業の実施支援(計8回)。</li> <li>○みつまたを愛する会との連携を支援し、地域資源である亀山産みつまたの掘り起こし。</li> <li>○足湯庭園、ラッピングトラック、東海道ひなまつり等、イベント実施支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光協会HPのきめ細やかな情報更新の支援。</li> <li>○フィルムコミッションの運営支援</li> <li>○フィルムコミッションによるメモリアルフォトサポート事業の実施支援</li> <li>○みつまたを愛する会との連携を支援</li> <li>○城郭巡りスタンプラリー、東海道ひなまつり、亀山宿・関宿・坂下宿の宿場印製作及び販売、デジタル観光マップアプリの製作を支援</li> </ul>	
事業の計画・実績	計画額	事業費	18,700千円	18,700千円	18,700千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	17,700千円	17,700千円	17,700千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費 ①	17,060千円	16,385千円	16,053千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	総人件費 ②	2,355千円	2,352千円	2,371千円	
	一般職員	2,355千円	2,352千円	2,371千円	
	所要人員	0.30	0.30	0.30	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
	総コスト(①+②)	19,415千円	18,737千円	18,424千円	
受益者負担率	0.0%	0.0%	0.0%		

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
④ 指標	①	名称	フィルムロケ地誘致回数	計画値 2	3	4
		活動		実績値 0	0	
				単位 回	回	回
	②	名称	ホームページ閲覧数	計画値 90,000	95,000	100,000
		成果	亀山市観光協会のホームページ閲覧数	実績値 185,127	181,722	201,053
				単位 回	回	回
	③	名称		計画値		
				実績値		
				単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 コロナ禍で訪問客の質は変化しており、個人訪問客の動向を把握して適切に観光案内を実施していく。個人訪問は事前の観光地の密の状態やディスタンスの取組み等の情報をインターネットを通じて事前調査を行い、旅中でゆったりと充実した観光コンテンツを利用できる場を模索していることから、さらなる情報発信の充実を図り、観光地のリピート効果を誘導し、にぎわいを取り戻す展開が必要である。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 コロナ禍において観光バスを使用した団体旅行から自家用車を使用した個人旅行に移行していることから、観光駐車場に隣接する足湯交流施設に昨年新設した案内窓口にて引き続き案内を行った。また、最適な観光案内のために、亀山市観光協会及び三重県観光連盟と協議し、各公式ホームページの更新が適切に行われるよう情報共有を図った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 全体的な訪問客は低減しているが、きめ細かい情報発信によりホームページのアクセス数は例年どおり推移しており、効果的に情報発信をできたものと認識している。また、コロナ禍で活動に制約がある中で、フィルムコミッションの運営、結婚式場の前撮りなどを対象とするメモリアルフォトサポート事業、城郭巡りスタンプラリー、東海道ひなまつりの実施など取り組むなど、コロナ禍において可能な事業を実施し、にぎわいを取り戻す取り組みを行った。	B  まずは実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 年間を通じて活動に制約がある中で、ソーシャルディスタンスを保つ安全な手法を模索して、創意工夫の中で事業が実施できた。市内の各宿場への来訪記念となるよう「宿場印」を製作、販売を開始したほか、デジタル観光マップアプリの提供により、閑宿や観音山公園などのデジタルマップをスマートフォン等で現地とともに表示できるようになったことから、散策が容易になった。これらの取組により、市内観光地の活性化につながり、観光協会の運営基盤の強化に結び付けることができたと考えられる。	B  まずは成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 観光協会の運営基盤の強化については、活動の制限を受けて事業が縮小することや会員数の減少などの要因で、依然として自立した運営には至らないため、創意工夫した取組を支援する必要がある。	次期実施計画への方向性  <input type="checkbox"/> 継続（拡大） <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 継続（縮小） <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他  【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 旅行形態がマストツーリズムから個人旅行ヘシフトし、消費行動も大量消費型の観光からサステナブルツーリズムへとシフトしていることから、本市の特徴でもある歴史・文化・芸術などの観光コンテンツの高付加価値化により誘客を図り、関係機関と連携して、観光協会の運営基盤の強化を目指す。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 観光コンテンツの高付加価値化を目指すことにより、大量消費型のマストツーリズムから脱却し、サステナブルツーリズムを実現することで、本市が目指している「まちづくり観光」の実現へとつながる。また、観光コンテンツの高付加価値化の実現により、観光協会の運営基盤の強化につながる。	
対応時期		令和4年度～令和7年度	

【1次評価者】	産業環境部 商工観光課 観光・地域ブランドグループリーダー 早川博人
【最終評価者】	産業環境部 商工観光課長 井上和哉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B	B	B
	成果	B	B	B	B	B

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		17,700 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	17,700 千円
	令和4年度への繰越額	千円